SAMPLE

芥川

● **次の空欄を文章中の語句で補え。**

男 → 女

年を経てよばひわたりけるを、からうじて㋐〔　　〕て、

芥川のほとり

◎芥川という川のほとりに連れて行く。

女 …草に置いた露を、「あれは、何？」と問う。

・道のりは遠く、夜も更けた

㋑〔　　〕多く、㋒〔　　〕も更けにければ、

・雷までたいへんひどく鳴り、雨も激しく降った

㋓〔　　〕さへいといみじう鳴り、雨もいたう降りければ、

◎荒れ果てた蔵に女を押し入れて泊まる。

㋔〔　　〕ある所とも知らで、

㋕〔　　〕蔵に、女をば奥に押し入れて、

【深夜】荒れ果てた蔵

蔵

鬼 → 女（一口で食う）

（戸口）

男

弓・胡籙を負ひて戸口にをり。

「はや㋖〔　　〕も明けなむ」

と思ひつつゐたりけるに、

◎雷の音で、女の悲鳴も聞こえない

男

女がいない。じだんだを踏んで泣くが、どうしようもない。

足ずりをして泣けども㋗〔　　〕。

【夜明け】蔵

歌 白玉か何ぞと人の問ひし時㋘〔　　〕と答へて㋙〔　　〕なましものを